

しあわせ



No. 202

令和4年
(2022)
2月17日



令和3年11月3日(水)、福知山市総合福祉会館で、「親子手話教室」を開催しました。

主催は、聴覚障害の当事者団体や手話サークルなどで構成する「手話広めたい話し隊」。社協も構成団体の一員として、皆さんと一緒に手話を身近に感じていただき、言語としての手話が普及していくよう、取組みを進めています。

当日は、親子20組47名(大人:19名・子ども:28名)が参加。グループに分かれ、聴覚障害のある方からの“聞こえない暮らし”についてのお話を聞いて聴覚障害への理解を深め、自分の名前や学校名などを手話で伝えられるように学びました。

子どもから高齢者、目や耳、身体の不自由な方など、多様な人たちが共に住むこのまちで、共に助け合い、支え合って安心して暮らしていくために、社会福祉協議会は、さまざまな個人や団体の皆さんと力を合わせて、障害に対する理解につながる活動に取り組んでいきたいと思ひます!

【手話広めたい話し隊構成団体】 福知山聴覚障害者協会、福知山手話サークル「こづち」、大江町手話サークル、福知山市聴覚言語障害センター、福知山市社会福祉協議会

主な内容	2ページ …… 新年のごあいさつ	6,7ページ …… つながり・ささえあうみんなの地域福祉活動
	3ページ …… おしらせ	8ページ …… 地域のつながり
	4,5ページ …… とりくみ	



ごあいさつ

～ なくてはならない身近な社協を目指して～

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会
会長 夜久 豊 基



令和4年スタートしてまもなく2か月が過ぎようとしています。

皆様方におかれましては、日頃から福知山市社会福祉協議会の運営に、格別のご理解とご協力を賜っておりますことを、心より感謝申し上げます。

昨年12月に開催いたしました「コロナ禍を地域で支える見守りプロジェクト」におきましては、多くの市民や団体、企業の方々からたくさんの食品・日用品等をご提供いただき、生活に困窮されている方々に「食の応援パック」としてお渡しすることができました。併せて、専門相談機関等のご協力により相談窓口を設け、日常生活に不安のある方々に対し、不安の解消に向けた支援につなげることができました。今回のような取組みを通して、福祉制度の狭間にある方々を支援することが社会福祉協議会の役割と考えています。

社会福祉協議会が、皆様に『なくてはならない身近な社協』と認識いただけますように、皆様に寄り添いながら「つながり続けることの大切さ」を活動の基本として、住民主体の地域福祉活動をより充実させていくことを目標に、職員一同、しっかりと取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

コロナ禍は足掛け3年になりますが、この「厳しい」時を乗り越え、令和4年こそ将来を「展望」できる明るい「希望」の持てる一年となりますことを心から願っております。

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました。



市民の皆さんからお寄せいただいた募金は、市内の福祉活動に役立てられています。

ひとり暮らしの高齢者を地域で見守る活動や、障害への理解に向けた啓発活動、子どもたちへの福祉活動、福祉活動の担い手となるボランティアの育成・啓発活動など、私たちの住むまちでの福祉活動はもとより、より広域的な課題を解決するための活動にも役立てられています。

詳しくは、こちらをご覧ください。



引き続きグッズ募金受付中!

社協本所窓口での300円以上の募金で
「劇場版 呪術廻戦0×赤い羽根共同募金」クリアファイル、
「ドラえもん」クリアファイルなど1枚進呈

- ※ 数には限りがあり、なくなり次第終了となります。
- ※ 転売、ヤフオク・メルカリ等への出品は厳禁です。
- ※ 他のデザインもあります。お問い合わせください。



©2021「劇場版 呪術廻戦 0」製作委員会 ©芥見下々/集英社

《赤い羽根共同募金箱設置協力店・施設》

しあわせ201号掲載以降 前田教育集会所

【お問い合わせ】 福知山市共同募金委員会（事務局：社協） TEL 25-3211 FAX 24-5282

聴覚障害者のつどい **要申込**

～陶芸でオリジナルカップを作しましょう～

芸術にふれ、粘土の感触を楽しみながら参加者同士の交流を図るために実施します。

- 【日時】 令和4年3月3日(木) 9:30～12:00
- 【場所】 福知山市総合福祉会館 (字内記10-18)
- 【対象】 福知山市在住の障害者手帳(聴覚)をお持ちの方とご家族および、活動に関心のある方
- 【内容】 ①お一人につき1つ、陶芸用粘土でカップを作ります。
②作品は窯で焼成後、後日お渡しします。
- 【講師】 年次 浩樹(としつぐひろき)氏
- 【参加費】 無料
- 【定員】 20名程度(先着順)
- 【申込締切】 令和4年2月28日(月)



視覚障害者のつどい **要申込**

～落語を楽しみましょう～

コロナ禍の中、皆さんで落語を楽しみながらホッとする時間を持ち、参加者同士の交流を図るために実施します。

- 【日時】 令和4年3月15日(火) 13:30～15:00
- 【場所】 ハピネスふくちやま市民ホール(字内記100)
- 【対象】 福知山市在住の障害者手帳(視覚)をお持ちの方とご家族および、活動に関心のある方
- 【内容】 落語をお聴きいただきます。
- 【登壇者】 桂 三扇(かつらさんせん)氏
- 【参加費】 無料
- 【定員】 30名程度(先着順)
- 【申込締切】 令和4年3月10日(木)



福知山市の地域福祉を考える会 **要申込**

地域福祉フォーラム
～コロナに負けない住民の物語～

コロナ禍の中でも“繋がりを切らさない”ために、多様な地域福祉活動を展開されている活動者からの実践報告、活動者同士の交流・情報交換を行い、これからの小地域福祉活動への機運を高めるために開催します。

- 【日時】 令和4年3月13日(日) 13:30～16:30
- 【場所】 ①福知山市武道館
②三和荘
③夜久野地域公民館
④大江町総合会館
※各会場をオンライン(ズーム)で繋ぎます。
- 【対象】 地域福祉活動に関心のある方どなたでも
- 【内容】 ①実践報告 ②基調講演 ③情報交換
- 【講師】 佛教大学 福祉教育開発センター 講師 後藤 至功(ごとう ゆきのり)氏
- 【定員】 各会場30名程度(先着順)
- 【申込締切】 令和4年3月10日(木)



肢体障害者のつどい **要申込**

～苔玉づくりにチャレンジ～

コロナ禍で集まることが制限されている中、少人数で、緑に触れてリフレッシュし、参加者同士の交流を図るために実施します。

- 【日時】 令和4年3月17日(木) 13:30～15:00
- 【場所】 福知山市総合福祉会館(字内記10-18)
- 【対象】 福知山市在住の障害者手帳(肢体)をお持ちの方とご家族および、活動に関心のある方
- 【内容】 苔玉を作ります
- 【講師】 三段池RAVIHOUSE(ラビハウス) 植物園職員の皆さん
- 【参加費】 無料
- 【定員】 15名程度(先着順)
- 【申込締切】 令和4年2月28日(月)



安心生活見守りキーホルダー事業

～高齢の方や障害のある方へ～

外出先で救急搬送されたり徘徊などで保護される等、緊急に個人の特定が必要な場合に目印となるキーホルダーを配付しています。カバン等に付けられたキーホルダーの登録番号をもとに、社協が緊急の連絡先や医療機関等の情報を提供し、迅速な対応に結びつけます。

- 【対象】 福知山市にお住いの高齢の方、障害のある方
- 【費用】 無料
- 【登録内容】 お名前、住所、性別、生年月日、電話番号、緊急連絡先、かかりつけ医療機関等

【キーホルダーの大きさ】
本体部分 6.1 cm × 1.9 cm



※お一人5個お渡しします。

「聴覚障害者のつどい」「視覚障害者のつどい」「肢体聴覚障害者のつどい」は、新型コロナウイルス感染症拡大により行事を中止することがございます。ご了承ください。

生活福祉資金コロナ(特例)貸付の申請受付延長

申請受付 令和4年3月31日まで

新型コロナの影響による休業や失業などにより生活資金でお困りの方に向けた、緊急小口資金などの特例貸付を実施しています。 ※貸付には審査があります。

福知山市ボランティアセンター主催
市民向け講座「部屋とところのお片付け」

10/14 (木) 10/22 (金)

福知山市ボランティアセンターでは、市民の皆さんを対象に講座を開催し、元気で健康的な生活を応援しています。今回の講座は整理収納により、時間や気持ちなどにゆとりができ、そこから活動しようとする意欲や、学びを他の誰かに「伝える・広める」ことで、ボランティア活動のきっかけづくりになればと開催しました。



福祉ものづくり体験講座
伝えたい情報を絵や図で表現！
ピクトグラムづくり

10/16 (土) 12/11 (土)

参加された児童の皆さんの豊かな発想力とデザインで、さまざまなピクトグラムができました。誰が見てもわかるピクトグラムを考えながら作るという気持ちが思いやりにつながります。

本講座が、いろいろな人と共に暮らしていることへの気づきとなり、お互いを認め合う「ユニバーサルデザインのまちづくり」につながればと思います。



老いじたくカレッジ

10/20 (水) 11/17 (水) 12/8 (水)

「人生100年時代の遺言」「HAPPY ENDING」「健康な体づくり」をテーマに、安心して自分らしく暮らし続けるために役立つ情報を集めた内容の3回講座を開催しました。



第4講座「介護保険について」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により行事を延期しています。

三和身体障害者交流会
みわの集い

11/11 (木)

民生児童委員の皆さんと一緒に、対象の方41名のご自宅を訪問し、贈り物を届けました。

また、卓球バレーやポッチャのピクトグラムを組み合わせた「みわの集い」のロゴマークも作成しました。



夜久野ウォークラリー 11/14 (日)

晴天の中、子どもから大人まで42名が、約5kmの道のりを歩いたり、ミニミニ運動会をして交流を深め、夜久野高原の秋を満喫されました。



善意の寄付 ありがとうございました

令和3年9月21日～12月31日（敬称略・受付順）

こちらの内容は、個人情報保護の為、
ホームページへの掲載は自粛させていただきます。



きょうと地域福祉活動実践交流会 11/30 (火)

宇治市のメイン会場と府内各市町村のサブ会場がオンラインでつながり、地域づくりの講演や地域福祉活動の実践報告、意見交換を行いました。

福知山市では、地域で活動しておられる39名の方が参加されました。



三和グループデイホーム お楽しみ会

12/14 (火) 12/17 (金)

職員による「リズム体操」や「三和小学校6年生とのオンライン交流」により大いに盛り上がり、楽しんでいただきました。



オンライン福祉教育

12/17 (金)

三和小学校×社協三和支所グループデイホーム オンラインでつながる交流体験学習

6年生13名とご利用者10名がオンラインでつながり交流されました。音楽に合わせて一緒に体操をした後、児童の一人ひとりがご利用者の皆さんに楽しんでもらえるよう、三和地域や健康のことなどに関する〇×クイズを工夫しながら出題するなど、笑顔あふれる交流となりました。

本会では、未来を支える子どもたちに新しい出会いの中から新しい発見や「共に生きていく」視点について考える機会をつくることで、本市の将来の社会福祉を担う人材の育成を推進しています。



大江はつらつ会

12/11 (土)

〔見守り訪問事業〕

コロナ禍の中で、一堂に会しての交流は避け、民生児童委員や地域ボランティアの方々と一緒に75歳以上のひとり暮らし高齢者147名のご自宅を訪問し、大江学園の児童・生徒からのメッセージやお弁当等をお届けしました。



歳末たすけあい

12/24 (金)

コロナ禍を地域で支える見守りプロジェクト 食の応援パックお渡し&相談会

約90の個人や団体、企業の皆さんからたくさんの食品や日用品をお寄せいただきました。仕分けや袋詰めは、ボランティアの皆さんにご協力いただき、計167人分の食の応援パックが準備できました。当日はいろいろなお話を聴かせていただきながらお渡ししました。

たくさんの食品や日用品などを提供いただいた個人や団体、企業の皆さん、本当にありがとうございました。



仕分けや袋詰めの様子

詳細は、社協ブログに掲載しています。



権利擁護 から考える 地域の暮らし

第1話 「“権利擁護”ってなに？」

“権利擁護”という言葉をご存じですか？

「堅苦しい言葉で難しそう」とか、「自分には関係ない」と思われる方が多いのではないのでしょうか。

“権利擁護”、できるだけ分かりやすくお伝えすると、「自分らしく、みんなと一緒に暮らしていく」という誰もが持っている権利を守ることだと思います。

社協では、ひとりでも多くの方の暮らしの権利を守るために、「権利擁護センター」を運営しています。認知症になっても、障害があっても、地域で安心して暮らし続けることができるように、社協ではさまざまな相談に応じ、暮らしのお手伝いをさせていただいています。

私たちが、権利擁護センターの職員です！

いつまでも自分らしく暮らしていただく支援に努めます！



次回は、「権利擁護センター」の具体的な事業について、紹介の予定です。

※本コーナーは、「権利擁護」を主なテーマに、読者の皆さんと地域の暮らしについて考えるきっかけにできたらと思っています。

つながり・ささえあう みんなの地域福祉活動



※「地域はつながりが大切」「地域を支える」といった皆さまの地域の福祉活動・ボランティア活動の一部をご紹介します。



10/1(金) 大内山田「なかよしサロン」
みんなで仲良くおしゃみ投げ



10/12(火)「笹場すみれ会」
夏に栽培・収穫したヘチマでたわしづくり



10/16(土)「惇明地区民生児童委員協議会」
お便りを添えてひとり暮らし高齢者を訪問



10/23(土) 北山「北親会ふれあいいきいきサロン」
ポッチャで交流



10/30(土)「中六人部地区福祉推進協議会」
地域の交流！福祉ふれあいひろば開催



11/15(月) 田野「福笑会」
包装紙を折っておしゃれポチ袋づくり



11/15(月) 総合福祉会館の消防訓練
当事者団体の方々とお助け袋を体験



11/18(木) 高畑「なないろ」
ハンドマッサージやネイルの施術で満面の笑み！



11/24(水)「昭和地区福祉推進協議会」
世代間交流のために昭和地区探検マップを作成！



11/26(金)「大江ボランティアフェスタ」
ボランティアの皆さんが物づくりで交流



11/27(土)「下豊富地区福祉推進協議会」
ひとり暮らし高齢者へふれあいもち弁当をお届け



11/29(月)「新庄いきいきサロン」
約1年ぶりにサロン再開！



12/4(土)「福知山障害児(者)親の会」
スポーツを楽しんで仲間と笑顔に！



12/4(土)「雲原地区福祉推進協議会」
水車ひろばサロンで忘年会！



12/5(日)「六人部地区民生児童委員協議会」
笑顔の輪を広げるかかしを23体お披露目！



12/7(火)「介護ボランティアいずみ会」
介護施設ご利用者へ会えない代わりに手紙で交流



12/14(火)「下六人部地区福祉推進協議会」
六人部小学校6年生の世界に一つのお皿づくり



12/14(火) 私市「殿村いきいきサロン」
スカットボールで交流



12/14(火)「多保市あじさいサロン」
ハーモニカとギター演奏による音楽鑑賞



12/15(水) 下猪崎「ゆうゆう会」
今回の体操で74回目！



12/16(木)「上紺屋ラジオ体操部」
3年以上続く平日朝の体操で交流と健康づくり



12/16(木)「かしの木台いきいきサロン」
サンタクロースに扮してプレゼント配付の場面も！



12/19(日)「金谷地区福祉推進協議会」
クリスマス訪問で子育て支援



12/19(日) 三俣「みてくら交流クラブ」
明るい新年を迎えるしめ縄づくり！



12/19(日)「福知山市母子寡婦福祉会」
親子でふれあい、音楽ボランティアとも交流



12/19(日)「駒場ふれあいサロン」
ツリーの飾付けと映画上映会で交流



12/19(日)長田段「段冬・イルミネーション」
冬の夜を彩るイルミネーションを設置、点灯！



12/20(木)「上豊富地区福祉推進協議会」
コロナ対策グッズを添えてひとり暮らし高齢者等を訪問



12/22(水) 奥榎原「ほほえみ」
とれたて野菜100円市を開催



12/23(木)「菟原下一自治会買い物バス」
15回目(9年目)の買い物ツアー！

皆さまの地域の「つながり」「ささえあう」福祉活動をお聞かせください。

お聞かせいただいた活動内容については、本誌など、さまざまな形で広く紹介させていただきます。
皆さまからの情報提供をお待ちしています！

社協ホームページ「社協ブログ」では、情報提供いただいた内容を随時更新させていただきます。ご覧ください。



【お問い合わせ】 地域福祉課 TEL 25-3211 FAX 24-5282 Mail: fuku-shakyo@coral.broba.cc

ありがとう・感謝の気持ちを

～『絆・きずな』でつながる絆～

細見 茂さん (86歳)

三和町西松の細見 茂さんは、平成27年1月から地域の高齢者の皆さんに向けてお便り『絆・きずな』をほぼ毎月欠かさず発行されています。令和3年12月には、第84号を地域の皆さん(約20軒)に届けられました。

だんだんと孤立・孤独になっていく高齢者同士が何かつながりをもてないものかと考え思いつかれたのが、この『絆・きずな』の発行だったそうです。

「日常会話のようなことを難しい言葉ではなく、普通の言葉で書く、これが案外皆さんに喜んでもらえて、手紙や電話をもらったり、声をかけてもらったりすることも増えてきてね。皆さんの声が生活の励みになっています！」と細見さん。細見さんにとって、地域の皆さんからの喜びの音がさらなる原動力になっているのだと感じました。



細見さんの書斎は、心温まる便りや短歌が集まる場所となっています！

また、このお便りには、毎回短歌が掲載されていて、地域の方々も、日常で感じたことを日々書き留めながら短歌づくりに励んでおられるとのこと。細見さんのお便りが、地域の方にとっての生きがいにもつながっています。

この『絆・きずな』は、細見さんから地域の皆さんへ“ありがとう・感謝”の気持ちがいっぱい詰まったメッセージであり、その名の通り、細見さんと地域の皆さんをつなぐ大切な絆になっています。

ボッチャを楽しもう!!

「ボッチャ (Boccia)」というスポーツをご存じですか？今、静かなブームになっています。

昨年夏のパラリンピック東京大会で、日本代表の杉村英孝選手が、金メダルをとられたことで、「テレビで見たことがある！」という方も多いのではないのでしょうか？

今、その“ボッチャ”が市内各地域で人気となり、盛り上がっています！

ボッチャは、重度の脳性まひ者や同程度の重度障害が四肢にある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。ルールは簡単！ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競います。相手のボールを弾くなど、様々な戦略があり、奥深く魅力的なスポーツです。

最近では、障害の有無や年齢等にかかわらず、全ての人が一緒に競い合い、夢中になれるスポーツとしても注目されています。市内でも、サロンなどでボッチャを体験されるところが増えてきました。ある程度距離をとって実施でき、密を避けられ、コロナ禍の中でも取り組みやすいスポーツです！



投じたボールの転がる先に大注目！白熱した頭脳戦に会場が沸きました。

ボッチャの道具は、社協のレクリエーション用品として貸し出しており、市役所の文化・スポーツ振興課では、ボッチャ体験の指導や説明のための講師として、スポーツ推進委員さんを派遣されています。少しでも興味・関心のある方は、ぜひ一度体験されてみてはいかがでしょうか？

ボッチャの魅力を存分に感じていただければと思います！

お気軽に社協までご相談ください！



■ 記事に関すること、その他お問い合わせは…

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会 〒620-0035 福知山市字内記10番地の18 (福知山市総合福祉会館内)			
地域福祉課、権利擁護センター TEL.0773-25-3211 FAX.0773-24-5282	介護支援課 TEL.0773-23-1333 FAX.0773-23-8555	夜久野支所 TEL.0773-38-1200 FAX.0773-38-1230	大江支所 TEL.0773-56-0224 FAX.0773-56-1654
三和支所 TEL.0773-58-3713 FAX.0773-58-3732	三和グループデイホーム TEL.0773-59-2025 FAX.0773-59-2026		

